

保護者様

玉名市立八嘉小学校  
校長 柳井 雅衣

### 令和4年度学校評価保護者アンケートの結果のお知らせ

仲春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。

さて、2月に実施しました学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果をお知らせいたします。皆様からいただきました評価等は、次年度の教育活動に生かし、児童の健やかな成長のために、全職員で努力して参ります。今後とも保護者の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

#### 1 結果のまとめ

豊かな心の育成 (心づくり)	達成率(4段階評価の「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた回答の割合)が90%以上だったのは、「楽しく学校生活をおくっている」「思いやりの心や人権意識が育っている」「学校のきまりやルールを守って生活している」でした。特に「学校のきまりやルールを守って生活している」においては、児童の評価も達成率が96.6%で、非常に高くなっています。
	一方、課題が見られた項目は「あいさつや返事がきちんとできる」で、昨年度から0.12ポイント下がり、4段階評価で2.86でした。児童自身も、3.19と昨年度から0.22ポイント下回りました。
豊かな学力の育成 (学びづくり)	対策 あいさつの向上は、玉南中校区小中一貫教育の共通実践項目で、「自分から進んで」「相手を見て」あいさつすることを目指し、日常の指導や、中学生と一緒にいるあいさつ運動などに取り組んできました。学校では、登校時や授業前後、帰りのあいさつなど集団ではできていますが、個人での主体的なあいさつについては、個人差があります。自分からあいさつをし、積極的にコミュニケーションを図れるように、あいさつのよさや意義を実感できる経験を増やしていきます。ご家庭でもあいさつの大切さについて話していただき、習慣となるよう言葉かけをお願いします。
	「授業を分かる、楽しいと感じている」と「基礎的な内容を理解している」の項目で、85%を超える評価をいただきました。児童の評価も高くなっていました。
健康・体力の向上 (健康づくり)	今年度、最も評価の数値が低かった項目が、昨年度と同様「進んで読書をしている」で、4段階評価は2.38でした。児童も3.11と低くなっています。学校では、定期的に本を借り、読書の時間を設けて、個人の貸出冊数目標をすでに達成している児童も多くいますが、家庭での読書の習慣化までには至っていないことが分かります。また、「相手や目的を意識した話し方や聞き方ができる」が、4段階評価では2.91で、昨年度から0.06ポイント上回ったものの、「話す力」「聞く力」に課題が見られました。
	対策 読書の習慣化については、図書室の定期的な活用や「秋の読書祭り」などのイベントを行い、児童が本に親しむ取組を行ってきました。図書の貸し出し冊数も増えてきているので、今後も継続していきます。また、児童に読書の楽しさ、良さを実感できる取組を工夫し、メディアコントロールの力をつけるとともに、家庭と連携した取組を行っていきたくと考えています。
信頼される学校づくり	「話し方・聞き方」については、各教科等の授業をはじめ、教育活動全体における対話の充実を図り、相手を意識した話し方や聞き方ができるように努めていきます。
	児童が「病気やけがを予防する態度が育っている」の項目が、88%を超えていました。
健康・体力の向上 (健康づくり)	全項目のうち2番目に低かった項目が、「ルールを守ってメディアやゲームと付き合うことができる」で、4段階評価2.51でした。ただ、児童の自己評価は3.23あり、親子での評価差が大きくなっています。また、「進んで運動をしたり、体を動かしたりして体力を高めている」が4段階評価2.86と低い評価となりました。
	対策 体育の時間には、運動場の遊具等を活用したサーキットトレーニングを取り入れ、体力の向上に努めました。また、体育委員会や保健委員会が主催する「全校鬼ごっこ」や「リズムダンス」など、楽しみながら体を動かす機会を作り、児童に運動や体を動かすことの楽しさや爽快感を味わわせる工夫をしてきました。また、メディアについては、SNSや動画視聴の長時間化が気になることです。児童がメディアを適切に利用し、健康的な生活を送ることができるように、使用時間を決めるなどの家庭でのルールづくりや、外へ出て体を動かすことへの言葉かけをお願いします。
信頼される学校づくり	すべての項目で達成率が93%以上となりました。児童自身の評価も高い結果でした。
	特に、「学校は、よく清掃され、美しい環境整備がなされている」と「学校は、児童の安全や事故防止などに努めている」が高い評価でした。
信頼される学校づくり	児童のよさや活躍、伸びについて、学級や全校集会の場、学校ホームページ、教室や校内の壁面掲示において、タイムリーに紹介するよう努めました。また、コロナ禍の中、今年度は家庭や地域と協働した取組が少しずつ再開できました。地域学校協働活動推進員の假屋さんの協力を得ながら、多くの地域の方々をゲストティーチャーとして学校へお招きすることができ、体験活動をはじめとする様々な教育活動への支援を行っていただきました。校内の環境整備においても保護者の方々をはじめ、地域の方々にご協力いただき、花いっぱい美しい学校づくりを行うことができました。次年度は、保護者や地域の皆様との連携・協働をさらに深めるとともに、カリキュラム・マネジメントを充実させ、児童に目指す資質・能力を確実に身に付けていきたいと考えています。
	※裏面に集計結果を掲載しています。